

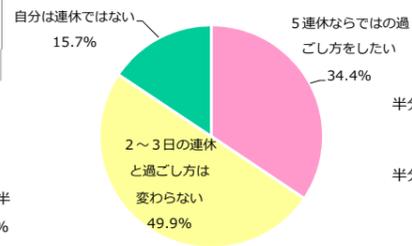
## 01 Woman's Trend

### 今年のシルバーウィークの計画は直前に決める人が半数近く、2~3日の連休と変わらず 大型連休は遠出と近所の半々で過ごし、嬉しさも半々

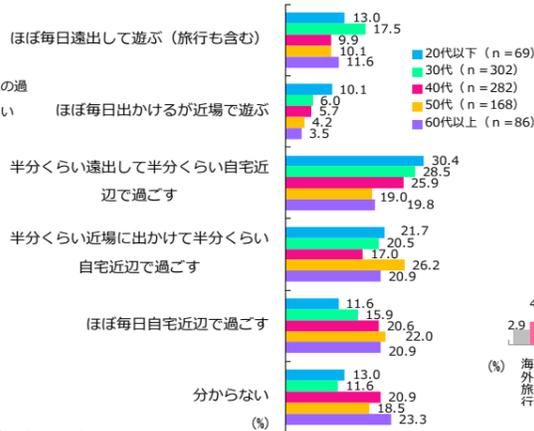
Q. この秋の5連休、どう過ごすか決まっている？



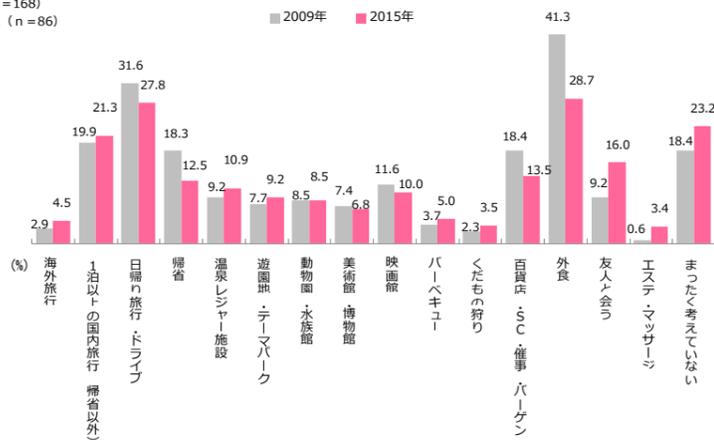
Q. 大型連休ならではの過ごし方をしたい？



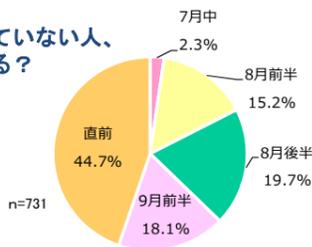
Q. あなたの過ごし方に最も近いのは？



Q. 秋の連休に多分行くと思うところは？



Q. まだ決まっていない人、いつ頃決める？



2009年から6年ぶりのシルバーウィークとなる今年の9月。どう過ごすか既に決めている人はまだ12.3% (7月19日現在)。まだ何も考えていない人が6割強で、6年前より6%増えた。では、いつごろ決めるのかと聞くと、直前という人が半数近く。大型連休といっても計画的に動く人は少ない。

せっかくの大型連休なのだから「らしい過ごし方」をしたいという人は3割強、半数は2~3日の連休と変わらないと回答。ハッピーマンデー施策で3連休が増えたため有難味が減ったことであろうが、大型連休はどこも混んで疲れるので、半分は休息に充てようという考え方が大勢を占めているようだ。

実際に具体的な過ごし方を聞いてみると、毎日出かける派は20~30代でも2割強で40代以上は15%前後になる。20~30代でも多いのは「半分遠出、半分近所」の過ごし方。50代以上は出かけるとしても近場でという人が

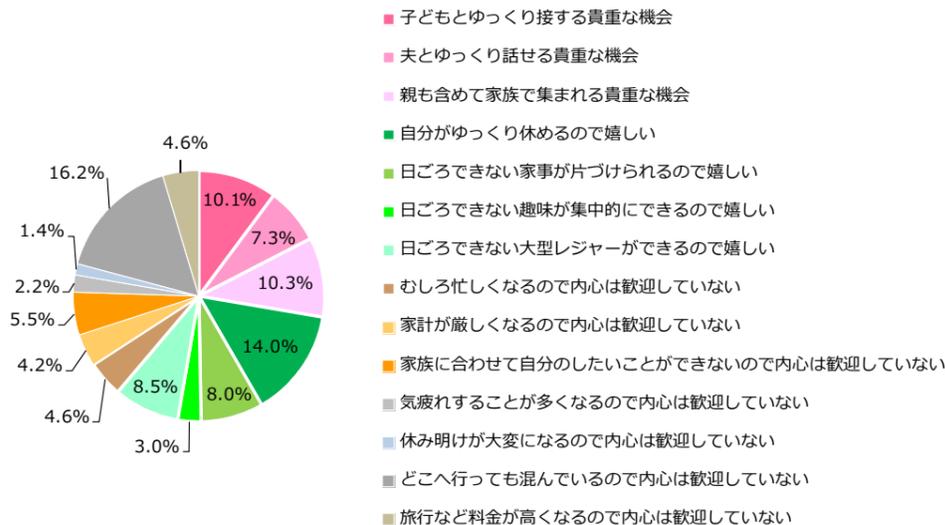
半数近くなる。40代の過ごし方がばらけるのは、子どもの年齢が多様だからだろう。

近場ですることの多くはドライブか外食だが、2009年と比較すると大きく減っている。一方で1泊以上の国内旅行を考える人が2割を超え、2009年と比較しても若干増えた。目的の明確なレジャーのほうが全体に増加傾向。特に大きく増えたのは「友人と会う」と「エステ・マッサージ」。レジャーの在り方自体が少し変わってきているようにも感じた。

大型連休に対する気持ちを敢えて一つ選んでもらうと、嬉しい気持ちのほうが6割を占めたが、内心歓迎していない人が4割に上っていることに注目したい。多いのは「どこに行っても混んでいる」というもの。

大型連休に向けては、むしろありきたりでない目的があり、人混みのない場となるような、新しいレジャーの提案が待たれているのではないだろうか。(所長/植田奈保子)

Q. 大型連休に対するあなたの気持ち、最も近いのは？



## 02 Woman's Data

【OLのキモチ】

### 約4割が、トップスは消耗品感覚で購入

OLがファッションアイテムを購入する際、高価格・高品質なものを選ぶ割合が最も高いのは、ジャケット・アウター。半年より長いスパンで購入する人が約8割と、長く使うもののため、品質重視の傾向。洋服の中で、最も消耗品感覚で購入するのはトップス。購入頻度は、3カ月より短いスパンで購入する人が約64.7%で、持っている枚数も平均18.1着と多い。

【ファッションアイテムの購入感覚】複数回答

アイテム	高価格・高品質なものを購入	消耗品感覚で購入
ジャケット・アウター	45.5%	3.4%
トップス	7.0%	40.1%
パンツ・スカート	9.1%	12.7%
ワンピース	14.2%	5.5%
下着(ブラジャー)	13.7%	41.5%
ストッキング	4.0%	77.4%
シューズ	34.3%	25.7%
バッグ	49.3%	5.5%
アクセサリ	28.5%	5.3%

2015.06.09~06.15 シティリビング調べ 首都圏のOLを対象にWEBアンケート (n=817)

【子育てママのキモチ】

### 新聞を取らない子育て世帯は63.4%

幼稚園ママと保育園ママに新聞を購読しているか聞いたところ、紙も電子も取っていない家庭が63.4%と、2014年の56.5%より6.9ポイント新聞離れが進んでいる。スマートフォンの無料アプリやインターネットでニュースがタダで見られるようになった今、新聞の必要性が低下しているよう。電子版を取る家庭はまだ少数だ。



2015.05.07~05.31 あんふあん調べ 幼稚園&保育園ママを対象に誌面、WEBアンケート (n=1000)

## 03 Group Eyes

### 子どもの宿題サポートなど、夏休みは家族で楽しむ体験型イベントが盛況

サンケイリビング新聞社では、毎年子ども向けのさまざまな夏休み企画イベントで、読者家族の楽しい夏休みを応援している。

そのうちのひとつ「夏休み宿題村」は、ホテルやイベント会場に親子を集めて科学実験や工作講座、読書感想文講座などを実施。各分野に通じた先生が、子どもの課題の手伝いをしてくれるというもの。7/28にさいたま市内各所、8/4にザ・クレストホテル柏で「1日宿題村」が開催された。今年が多摩地区でも開催され、大人気の企画に育っている。

また子ども向けのカルチャー体験教室も人気がある。8/2に丸井大宮店で行われた「HAPPY体験」は、店内のさまざまな業務を経験するというもの。4回目の今回もすぐに定員いっぱい。その他、親子で参加できるホテルのスタッフ体験や寄席の観劇体験など、家族で楽しんで学べる夏休みならではの企画に人気が集まる。未就学児とその家族に向けた「あんふあん夏フェス」も

盛況。

リビング新聞グループは今年も充実した企画イベントで、読者家族の夏休みの思い出作りを応援している。

(サンケイリビング新聞社CC室)



7月28日に埼玉・大宮ラクーンで開催された「夏の子ども1日教室」。親子連れの参加者で終日にぎわった